

# 2017 年度青島日本人会 総会

## 議 案 書

2017 年 4 月 15 日(土)  
16 時～17 時 30 分  
於:威斯汀大酒店

### 第 1 号議案 2016 年度事業活動報告

- (1)全 般
- (2)商 工 会
- (3)生活文化会
- (4)青島日本人学校運営理事会

### 第 2 号議案 2016 年度 会計報告

### 第 3 号議案 2016 年度 会計監査報告

### 第 4 号議案 2017 年度理事及び監事選任

### 第 5 号議案 2017 年度事業活動計画

- (1)全 般
- (2)商 工 会
- (3)生活文化会
- (4)青島日本人学校運営理事会

### 第 6 号議案 2017 年度 収支予算案

以上

## 第1号議案

### (1) 2016年度活動報告(全般)

青島日本人会会長  
奥 憲明

#### 1. はじめに

会員の皆さまには日頃より青島日本人会の運営、活動に多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。本日はご多忙にもかかわらず本総会にご参加頂き誠にありがとうございます。

2016年は日本、世界ともに良くも悪くも心休まることがないまま過ぎていったような気がいたします。まず、母国日本におきましては甚大な被害を出した4月の熊本地震、18歳選挙権の導入、小池都知事の誕生、北海道新幹線開業、オバマ大統領の広島訪問など大きなニュースが相次ぎました。

片や世界的には、11月のトランプアメリカ大統領誕生、英国のEU離脱、アメリカとキューバの国交回復、ミャンマーの民主政権誕生、カストロ議長逝去、北朝鮮の相次ぐ挑発行為、そして暗殺事件など国の体制を大きく揺るがすような大事件が相次いで起こりました。

極右勢力の台頭が各国で相次ぐなか、その状況を不安視する声も多く聞かれますがまさに予断を許さない状況であると思います。

また、われわれのまさに足元である日中関係はと申しますと、政治上はこれもなかなか素人が語れる状況ではないと思いますが、民間レベルではここ数年大きな変化はなく、相変わらず多くの中国人観光客が日本に足を運び、今までの電気製品などハード中心から気候や文化といったソフトコンテンツに惹かれる方が増えていると聞きます。昨年は約640万人、前の年に比べて28%近い伸びであったそうです。

ただ中国で働く日本人にとっては、ここ数年来の人件費コストの上昇に加え環境面、安全面の規制が最近急激に強化されたことにより、ますます事業環境は厳しくなっているのではないのでしょうか。

#### 2. 青島日本人会の活動について

そのような状況ではありますが我々青島日本人会は明るく元気な日本人コミュニティをここ青島に根付かせ発展させてゆくことを使命として今年も活動してまいりました。

2016年度の活動内容につきましては、のちほど各理事よりご報告させていただきますが、会員皆様のご支援、ご参画のもと、ほぼ全ての計画を予定どおりに実施することができました。

商工会のセミナー、各部会の交流活動はじめ、毎年恒例の納涼祭には400名、新年会は300名の会員さまのご参加を得ました。10月の運動会では150名近い皆さまがご参加くださり、翌日の筋肉痛に日ごろの運動不足を痛感されたことと思います。

また2016年は、それまで年1回の実施であった社会奉仕活動を2回行い、2回目は肌

寒い10月の海岸清掃であったにもかかわらず、80名もの皆さまに早朝より第一海水浴場にお集まりいただきました。

緊急連絡網の構築につきましても安全対策協議会を中心に、一部会員さまにもご協力いただき、より実効性の高いものに仕上げるべく取り組んでおります。ご協力いただいた会員企業さまには心より御礼申し上げます。

新年度も商工会と各部会、生活文化会、日本人学校、婦人会、公認同好会などそれぞれが多彩な活動計画を以て皆さまにお声掛けをさせていただくこととなりますので、ご支援、ご協力をお願い申し上げます、活動報告とさせていただきます。

## (2) 商工会 活動報告

商工会会長 能勢 稔彦  
副会長 小松 宏彦、正村 匡、田村 佳弘  
室井 清孝、吉川 宙、佐藤 秀二

### 1. 活動実績報告

青島日本人会商工会は「企業活動にかかわる有効な情報交換の機会を提供すること」を目的に活動しています。具体的には、会員企業の業種、業態に応じ、分野別に4つの部会を設け、各部会内での情報交換や交流会、社外見学会などを実施。もう一つは、会員さまの関心の高そうなテーマを選別し、専門講師によるセミナーを通じて、それらの情報を発信しました。

各部会の活動実績につきましては、各部会長からのご報告に委ねることとし、わたくしからは今年度実施したセミナーの内容について簡単にご紹介させていただきます。

### 2. セミナー内容報告

- ① 第1回(6/2 黄島区、6/3 市南区 JETRO 共催)  
「中国ビジネスの基礎知識と最近の会計・税務トピックス」  
PWC 青島事務所 後藤 洋一 氏
- ② 第2回(7/15 市南区 JETRO 共催)  
「越境 EC のこれからの一年、そしてその後」  
TNC 社(拓知管理咨询上海有限公司) 吳 明憲 氏
- ③ 第3回(9/20 黄島区、9/21 市南区 JETRO 共催)  
「事業再編の実務、税関申告書の記入規範改定-税関 20 号広告-と関連トピックス」  
デロイト北京事務所 北村 史朗 ディレクター、竹田 剛 マネジャー
- ④ 第4回(10/20 黄島区、10/21 市南区)  
「ケーススタディーから学ぶ中国の労務問題の対応策」  
大地律師事務所 熊 琳 弁護士
- ⑤ 第5回(1/13 市南区 JETRO 共催)  
「最近の中国金融経済情勢」  
日本銀行北京事務所 和田 健治 所長
- ⑥ 第6回(2/20 市南区)  
「中国における企業コンプライアンスの順守」  
森・濱田松本法律事務所(東京) 湯浅紀佳弁護士  
「中国(青島)で仕事する上で知っておくべき歴史・文化」

在青島日本国総領事館 遠山 茂 総領事

### 3. 総括

年間計画より1回少ない計6回のセミナーを開催、それらを通じて各専門分野の講師から会員企業の皆さまに、最も知りたいこと、知っておくべきことを情報としてお伝えすることができたものと考えております。

今年度は黄島区、市南区の開催がメインでしたが、黄島区の参加者が10人に満たないこともあったため、費用対効果も考慮し、来年度は市南区一箇所での開催にするかどうかの判断は、次の商工会メンバーのご判断に委ねたいと思います。

全体的には年度初めに計画していた活動は、各部会の活動も含めてほぼ実施できたものと感じています。また、総領事館には、政府関係者に意見交換する場も設定していただき、感謝申し上げます。直接意見が述べられる場として非常に重要であり、総領事館には引き続きこの方面でのサポートをお願いしたいと思います。

最後に、セミナーの開催に当たり全面的なご協力を賜りましたJETRO 青島、黄島区、城陽区、即墨区の各地区日本人会の皆さま、そして業務ご多忙のなか、商工会活動にご参加賜りました会員企業の皆さまに深く感謝申し上げて、わたしの報告とさせていただきます。ありがとうございました。

## 《食品部会》

部会長 小松 宏彦

副部会長 蔭島 末彦、大谷 典義、前田 裕之

### 1. 2016年度活動報告概要

2016年度の食品部会は「食品安全」と「現場を学ぶ」の2つの切り口で活動を企画し、会員の皆さま、訪問させていただきました企業さま、ご講演いただきました各界講師の皆さま等々の関係各位のご理解とご協力・ご支援によって3回のセミナーと工場見学1回、計4回の部会を開催することができ、また多数の皆さまにご参加いただくことができました。

ご協力頂いた皆さまとご参加いただいた会員の皆さまに、この場をお借りして、厚く御礼を申し上げます。

### 2. 活動実績

#### ① 第1回部会(5月20日:金) クラウンプラザホテル(青島市市南区)

- セミナー「世界のアレルギー表示制度・グルテンフリー食品市場について」  
講師:(株)森永生科学研究所営業部市場開発担当リーダー 土井 啓利 博士
- 会員企業の自己紹介・企業アピール・最近のトピックス

#### ② 第2回部会(7月8日:金) 青島華日彩印有限公司(即墨) 工場見学

- 食品・衣料の包装資材の生産現場の見学

- 食品包装資材等や、その印刷・製袋などに関する質疑等
- ③ 第3回部会(9月9日:金) クラウンプラザホテル(青島市市南区)
  - セミナー「中国の食品安全システムと関連規定の動向」
  - 講師: 大東文化大学外国語学部専任講師  
(兼 JETRO 海外調査部アドバイザー) 森 路未央 氏
- ④ 第4回部会(12月9日:金) クラウンプラザホテル(青島市市南区)
  - セミナー「中国における食品安全管理」
  - 講師: 在中国日本国大使館 經濟部 大田 光恵 第一書記官

### 3. 2017年度の活動方針

- 2017年度についても、前年同様に、食品関連企業・関連施設等の見学と、食品関係の情報発信の2つを活動の中心に据えて、年3~4回の活動を企画していきます。
- 情報発信に関しましては、引き続き在青島日本総領事館、JETRO 青島事務所、在中國日本大使館等と連携を密にして、会員の皆様に有用な情報を発信していきます。
- 毎回の部会の後は懇親会を設定し、積極的に会員間の交流・親睦を図っていきます。

以上の3つの活動方針のもと、少しでも多くの会員さまに参加いただけるよう活動していく所存ですので、何卒よろしく申し上げます。

### 《繊維部会》

部会長 正村 匡  
副部会長 杉田 貴史、青木 功

#### 1. 部会開催状況

2016年度は、年3回の開催を目標とし、6月、11月、2017年3月の計3回部会を実施しました。

今年度は、2回の市内のホテルでの開催、1回の工場見学、すべて部会終了後に懇親会も開催し、相互交流を深めました。

- ① 第1回部会(6月24日:金) 麗晶大酒店 3F 会議室
- ② 第2回部会(11月13日:木)
  - 工場見学: 山東美好食品有限公司(諸城)
  - 博物館視察: 山東諸城恐竜国家地質公園
- ③ 第3回部会(3月23日:木) クラウンプラザ 4F 会議室

#### 2. 活動内容

第1回目は新年度の初めての部会ということで、本年度の運営方針、年間予定等の報告・確認をいたしました。また、一般財団法人カケンテストセンターから「新ケアラベル

対応」に関するご講演をしていただきました。

第 2 回目は諸城にある山東美好食品有限公司のご協力で、異業種(食品工場)の工場見学を実施いたしました。日本向けの厳しい衛生管理体制を目の当たりにし、非常に勉強になりました。また諸城といえば恐竜の化石が多く発見されていることでも有名で、中国北部最大の恐竜博物館を視察しました。想像以上に多くの化石が博物館内に展示されており、非常に興味をもって見学ができ、一見の価値がありました。

第 3 回目は、JETRO 青島事務所から、2016 年度のアジア(特に中国)における日系企業の実態についてデータをもとにご報告いただきました。昨年度との比較ができ、中国の状況を再認識することができました。さらに昨年 11 月から実施されている就労許可証の更新申請の状況を、実例をもとにご報告いただき、更新手続きが非常に厳しくなっていることを実感させられました。

### 3. 2017 年度の活動方針、抱負

繊維業界が非常に厳しい状況ですので、部会メンバーの情報交流をさらに深めたいと考えており、年 3 回の開催を 2017 年度も予定しています。

第 1 回目は 6 月を考えており、第 2 回目、3 回目の日程も未定ですが、今年度も異業種交流として他業種の工場見学等、報告会形式の会議ではなく、外部での見学等を第 2 回目として計画しております。

皆さま大変お忙しいなか参加していただくこととなりますので、部会では参考になる情報提供、もしくは情報交換の機会を作り、参加メンバーにとって有意義な部会とできるよう、いろいろと考えていきたいと思っておりますので、何卒よろしく願いいたします。

## 《機械・電機・化学部会》

部会長 田村 佳弘

副部会長 朝倉拓和、中村明正、松沢隆

### 1. 部会開催状況・活動内容

- ① 第 1 回部会(6 月 27 日:水) クラウンプラザ 3F 会議室 参加者 32 名  
会社紹介・懇談会 参加者 32 名
- ② 第 2 回部会(11 月 18 日:金) 工場見学 2 社 参加者 31 名
  - 洋馬発動機(山東)有限公司
  - 青島聯合包装有限公司
- ③ 第 3 回部会(2 月 22 日:水) クラウンプラザ 3F 会議室 参加者 35 名
  - セミナー「中国進出日系企業実態調査について」  
講師:JETRO 海外調査部 島田 英樹 氏
  - セミナー「外国人就業許可制度の概要および試行状況について」  
講師:JETRO 青島 岩淵 茂 氏

## 2. 総括

2016年度 機械・電気・化学部会は、懇談、工場見学、セミナーをそれぞれ実施いたしました。

第一回目は会員各社の自社紹介・PRなどを事前に資料準備にてお話ししていただき、その後懇親会を実施しました。

第二回目は城陽区の工場2社を見学させていただきました。あいにくの悪天候のなかでしたが、大勢にご参加いただき、会員各社様と交流を深めることができました。見学先工場での固有の課題や共有できる情報もあり、有意義な会となりました。

第三回目については、年度の最終の会となりましたが、JETROより第一部では中国進出企業の実態と今後の各企業の方向性を講義いただき、第二部は最も会員各社様の関心の高い「新外国人就業許可制度」について、内容と試行状況を講義いただきました。その後懇親会を実施し、非常に盛り沢山の会となりました。

各理事所属企業の人事異動で部会長、副部会長の交代もありましたが、計画した3回の部会を開催し、相互の情報共有・懇親ができたことは、会員各社様、関係理事の皆様、事務局のおかげと思っています。心より御礼申し上げます。

## 《流通サービス部会》

部会長 室井清孝

副部会長 根占浩司、岩崎克彦、藤井伸明

### 1. 総括

流通サービス部会は運輸、倉庫、小売、各種サービス、金融など、業種が極めて多岐にわたります。他の部会と異なり、部会固有の課題を見つけるのが大変ななか、なるべく皆様に興味を持っていただけるようなテーマの講演や、会員の知見を深める見学活動などを企画するよう努めております。また、皆様の交流の場としてもぜひご活用いただければと考えております。

2016年度は、以下の通り計3回の部会活動を行いました。

- ① 第1回部会(6月29日:木) 懇親会
- ① 第2回部会(10月12日:水) 中徳生態園(Sino-German Eco-Park)参観及び同区管理委員会との交流会。別途市内にて懇親会
- ② 第3回部会(2月15日:水) 山東愛通海豊国際儲運有限公司(伊藤忠ロジスティクス現地法人)を訪問、同社所有冷凍冷蔵倉庫を見学。別途市内にて懇親会

第1回は年度初めの顔合わせということもあり、市内のイタリアンレストランで懇親会を行いました。

第2回は黄島、西海岸新区にある「中徳生態園(Sino-German Eco-Park)」を訪問。遠山総領事をはじめ、20名弱の会員が参加。当日は、張建国同区管理委員会副主任ご自身に直々にご案内いただくなど市政府側の熱意が感じられました。また、園区参観後の



交流会では、今後開発が予定される「中日創新産業園区」についての言及もありご参加いただいた会員の方々にも有益な情報であったと思います。

第3回は当部会の会員企業でもあります伊藤忠ロジスティクス株式会社のご厚意により、同社現法が黄島地区に所有する冷凍冷蔵倉庫の見学活動を行いました。当日は同倉庫や同社が保有するトラックを利用した複合的な輸送サービスの実情、メリットなどについても丁寧なご説明をいただき、会員の皆様のロジスティクス業務に関する知見を深めることができたものと思います。

## 2. 次年度の活動について

2016年度は前年度の最終回の会合で議論いただいたご意見を踏まえ、できるだけ多くの会員にご参加いただき、会員相互の業界知見や見聞を深めることができるような見学活動、セミナー活動を増やすことに努めました。

次年度もこのような方向性に沿って活動して参りたいと考えています。講演のテーマや見学・訪問先について、また部会活動のあり方そのものについて、ご意見がありましたら、何なりとお寄せ頂ければ幸甚に存じます。

2017年度も3回から4回程度の部会開催を予定しています。第1回(5月～6月中の開催を予定)は年度初めの顔合わせの意味もあり、懇親会を中心とした活動を予定しております。ぜひ会員の皆さまの多数参加をお待ちしております。

### (3) 生活文化会 活動報告

生活分文化会会長 清水雅彦  
副会長 根占浩司、大芝光輝、矢部千尋  
岩崎克彦、福永 護

#### 1. はじめに

生活文化会は青島日本人会という日系コミュニティの融和と繁栄を目的に、会員各位の青島での充実した潤いのある生活の実現を図るため、在青島日本国総領事館、青島日本人会所属の各部会、青島日本人学校等と連携して各種の親睦活動や地域貢献活動、生活文化関連のさまざまな取り組みを行っております。

生活文化会には、「婦人会」、「7つの同好会(2017年4月1日現在)」が帰属し、それぞれが青島において活発な活動・運営を継続しており、これらの活動・運営への支援を行っております。

他方、地域図書館「ちんたお文庫」の活性化と運営全般、生活情報配信「月刊青島」の運営・編集にも密接に携わりながら協力・支援を続けています。

また、日本人会の皆さまの安全を確保し、快適な青島での生活を送っていただくため、在青島日本国総領事館と連携し、安全関連情報の収集、配信にも努めています。

#### 2. 主な行事活動

2016年度におきましても、昨年度同様、生活文化会主催でさまざまな行事を企画し、会員の皆さまのご理解を賜り、ご協力、ご支援を得ながら各行事を進めてまいりました。2016年度に生活文化会が取り組みました主な活動につき以下、報告申し上げます。

##### ① 社会奉仕活動 7月16日(土)、11月26日(土)

昨年に引き続き、中国に暮らすわれわれが現地で何かできないかという考えのなか、今年度も社会奉仕活動として青島第一海水浴場での清掃活動を実施しました。社会奉仕活動も4年目を迎え、定着した行事となり、今年度も活動の活性化を図る目的に沿って、年2回実施することができました。2回の実施ともに約100名の方にご参集いただき、午前9時半から約1時間作業を行いました。参加者には海岸を歩きながら積極的にゴミを回収していただき、集めたゴミも想定していた量を超え、大いに成果がありました。お世話になっている青島への感謝の気持ちを表すことができました。

##### ② 納涼祭り 8月27日(土)

「子供たちのために、子供たちが喜ぶイベント」として始まったこの納涼祭も本年度4年目を迎え、麗晶大酒店(リージェンシーホテル)の屋上テニスコートにて中国人の方も含めて約400名の方々に参加いただき、盛大に開催することができました。祭り当日は炎天下の中での開催となりましたが、「焼きそば」、「お好み焼き」、「やべっちカレー」の屋台に加え、ここ青島にある有名店の美味しい料理に舌鼓を打ち、夏祭り

の定番である「金魚すくい」、「スーパーボールすくい」、「ヨーヨー釣り」、「ストラックアウト」や懐かしい「型抜き」、「すいか割り」、「輪投げ」などのゲームは、最初から最後まで子供たちの笑顔と熱気に包まれました。

祭り中盤の盆踊りでは、PTA や婦人会、日本人学校の方々にご指導ご協力をいただき、大人と子供が一体となり、祭りのフィナーレでは夜空を彩る打ち上げ花火を見上げて、ご家族揃って日本の夏祭りを十分に満喫していただけたのではないかと思います。

③ 青島日本人会運動会 10月22日(土)

昨年同様、青島日本人学校の体育館にて開催。当日は150名を超える方々にご参加いただき、東日本、中日本、西日本の3組によるチーム対抗戦で、ビーチボールバレー、未就学児童による20m競争、障害物競争、玉入れ競争、また、今年新たに企画された卓球競技の他、借物競争、ガチンコリレーと各種競技に熱戦を繰り広げました。最後のプログラムとなった綱引きではチーム全員が一つになり、各組が死力を振り絞った稀に見る熱戦となりました。最後まであきらめずに綱を引く姿は、競技に参加している人、応援している人の一体感を最高潮に高め、最終種目に相応しい盛り上がりとなりました。その他の競技でも、ご家族揃ってご参加される姿も多く、非常に楽しい時間を過ごすことができました。

④ 第5回青島ジャパンデー 11月5日(土)～11月6日(日)

昨年に引き続き、青島日本人会、在青島日本国総領事館、JETRO、青島イオン等の主催により、青島イオン東部店の1階特設イベントスペースにてジャパンデーが開催されました。会員企業を含む15以上の日系企業や団体が日本食、日本製品などのブースを出展。日本の地方自治体からの関係者も出展し、それぞれの観光地や特産品の紹介、華道・柔道のデモンストレーションによる日本文化の紹介を行いました。

両日ともに、多くの中国人来場者がブースを訪問し、試食や実際に商品を手に取り、日本への関心が高まったものと実感しました。中国人の訪日人数は増加しており「爆買い」への注目度も高まっておりますが、まだ訪日されていない方々へのジャパンブランドの紹介、訪日観光の促進、日本文化を知る機会、日本食の魅力等を発信する目的は十分果たせたと思います。

⑤ 新年会 1月14日(土)

青島日本人会最大のイベントである新年会を、今年は場所を青島香格里拉大酒店(シャングリラホテル)に移し開催いたしました。大人・子供合わせて約300名の会員の方々にご参加いただき盛大な会となりました。開演前の「餅つき」に始まり、オープニングの獅子舞、恒例の日本人学校生徒による迫力ある和太鼓演奏、マジックと楽しい出し物が続き、その後のゲーム大会においては、干支対抗ゲームや総領事杯争奪クイズでさらに盛り上がり、クライマックスの豪華景品が当たる「プレミアム抽選会」では会員企業様からご提供いただきました商品の当選番号が発表されるたびに歓声が沸き上がり、大人も子供も家族みんなの笑顔が絶えない、アットホームな雰囲気の中にも例年以上に盛り上がった新年会になりました。

⑥ 落語会 3月7日(火)

若手落語家の入船亭遊京様を迎え、クラウンプラザホテルにて青島では久しぶりの落語会を開催いたしました。当日は約50名の方々にご参加いただき、落語が好きな方も落語が初めての方も、ともに楽しい時間を過ごしました。今後も、このような文化的な活動について積極的に企画してまいります。

3. 総括

2016年度に実施した社会奉仕活動、納涼祭り、運動会、青島ジャパンデー、新年会、落語会などの開催にあたっては、さまざまなご支援、ご協力をいただいた関係各位、まだまだ経済環境厳しいなか多くの景品をご提供いただいた会員企業の皆さま、開催前の事前準備、当日朝早くから会場で準備頂いた皆さま、会運営にご協力いただいた婦人会、同好会をはじめとするボランティアの皆さまのお蔭で、会員相互の交流、親睦を深める非常に有意義な行事とすることができましたことをあらためて御礼申し上げます。引き続き生活文化会の活動につきましてご理解を賜り、ご協力、ご支援、またご参加を頂戴したくよろしくお願い申し上げます。

また、上記以外に生活文化会としましては情報誌である「月刊青島」を発刊するとともに、日本人が多く住んでいる銀都花園にある「ちんたお文庫」を運営しております。さらに、婦人会の活動、ゴルフ、テニス、ソフトボール、ヨット、卓球の体育会系同好会と写真、青島歴史研究会の文化系同好会、そして昨今の大气汚染など私ども青島に住む生活者の安全という面で総領事館と連携しながら活動しています。以下にそれらの活動報告を載せましたので、ご一読いただければ幸いです。

今後とも会員皆様のご支援でより有意義な活動を行っていただけるよう取り組んでまいりますので、引き続きご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

《ちんたお文庫活動報告》

前期役員 福原、杉田、菅野  
後期役員 福原、杉田、熊谷

文庫蔵書総数	およそ 6,500 冊
新規会員年間総数	16 人
年間利用者延べ数	1,195 人
寄贈本年間冊数	632 冊

1. 役員活動内容

- アルバイトへの仕事内容指示、チェック(随時)
- アルバイト休みの際の開館(今年度実施なし)
- 文庫休館のお知らせ作成
- 文庫内の大掃除の計画・実施

- 蔵書整理(古い本の処分など)
- 帰国者などの管理(利用者カード・ボランティア名簿)
- 利用者状況調査(月1回集計・日本人会へ報告)
- 各情報誌における施設利用案内掲載についての連絡・調整(月1回)

## 2. 今年度活動報告

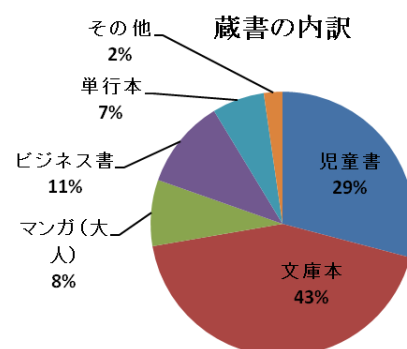
- 役員会(日本人会にて2回)
- ちんたお文庫ボランティア(2017年3月現在登録者20名)による文庫内の大掃除実施  
第1回:5月31日参加数20名 第2回:11月16日参加数15名
- 月刊青島『ちんたお文庫便り』の掲載(2016年4月より季刊発信)  
内容:おすすめ児童書、新着登録本の紹介、利用案内  
「子ども文庫ふくぷくさん」の紹介等
- 玄関鍵の対応(カードキー故障のため)
- 蔵書整理(廃棄本・書棚の整理、児童書コーナーの整理、中国関連本コーナーの設置等)

## 3. 総括

昨年度3月より、開館日を週5日から3日に、開館時間を20時間から16時間と、開館日数・時間ともに短縮となりました。昨年度よりも来館者数が下回る月もありました。しかし年間来館者数は昨年度より増加となり、効率的に稼働していると思います。文庫の蔵書の整理促進においても、年2回のボランティアによる大掃除で大幅な蔵書の整理・整頓を行い、いっぱいだった棚も余裕ができた。上の棚から本が落下しない等の安全面も改善されました。新コーナーの設置など蔵書内容もリフレッシュされてきています。

また、「子ども文庫ふくぷくさん」の月1回の読み聞かせは、日本語に触れる機会の少ない青島在住の未就学児にとって貴重な活動であり、多くの親子がちんたお文庫へ足を運ぶきっかけとなっています(月25名程度の参加で来館者数に含む)。

施設面においては鍵の故障などがあり、カードキーを廃止し玄関の鍵を1本化しています。



## 4. 次年度への課題

一昨年度の銀都花園への引越しから2年8ヶ月となり、ちんたお文庫の周知が進み、銀都にあるちんたお文庫として定着しています。

今年度もボランティアが減少せず、活動を行うことができました。ボランティアメンバーは銀都周辺に住み、かつお子さんがいる方を中心に構成されており、近年役員も他団体の役員・世話係を兼務する傾向があります。ちんたお文庫について広く周知を行い、さらに

ボランティアの募集を行いたいと思います。

また、照明やトイレの設備の改善等、利用しやすい環境の整備を行いつつ、近年の日本人の居住地の動向を踏まえながら、ちんたお文庫の在り方について今後も継続して検討を行いたいと思います。

ちんたお文庫は、会員の皆様のご協力のもとに成り立っている図書館です。青島在住の日本人の皆さんに気持ち良く利用していただける図書館になるよう、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。また寄贈本も随時募集しております。よろしくごお願いいたします。

資料：年間来館者の推移(2017年3月26日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本年度来館者数①	106	147	96	106	62	119	119	121	121	71	81	46	1195人
昨年度来館者数②	70	144	75	82	72	110	93	121	136	54	99	66	1122人
増減数①－②	36	3	21	24	-10	9	26	0	-15	17	-18	-20	73人
新規会員	8	2	1	0	0	1	2	0	2	0	0	0	16人
新規登録本	23	52	26	231	12	25	6	63	75	100	54	51	718冊

### 《情報誌「月刊青島」》

青島日本人会生活文化会では、WEB情報誌の「月刊青島」を発信しています。「青島をもっと知って、もっと楽しく！」をモットーに、「あなたとつくる・つながるWEB情報」として、毎月10日を目処に発信しています。

「月刊青島」では総会、社会奉仕活動、運動会、納涼祭、新年会等の日本人会の活動についての報告、総領事館・JETRO・青島日本人学校からのお知らせ、「公認同好会だより」、「婦人会通信」、「グリーン放弾」、「ちんたお文庫だより」、会員の動向等の情報を掲載しています。また青島物語の転載を行っており、OBによる料理コーナーは一番の長寿企画で、「ふるさと自慢」や「あの頃のチンタオ」といった連載も加わります。

本年も日本人会会員の皆さまの役に立つ生活情報の発信や、「青島」における「縁」と「絆」を大切に多くの方の皆さまに誌面に登場していただけるようなコーナーを引き続き掲載していきたいと考えております。

「月刊青島」は日本人会会員の皆さまのご協力・ご支援をいただき、そして皆さまに支えられて発信を行っています。WEB情報誌の編集にご関心のある方は是非ご連絡ください。また「月刊青島」に対するご要望・ご意見、取り上げてほしい企画等がありましたらご連絡ください。

### 《青島歴史研究会》

青島日本人会は2010年に20周年記念として青島日本人学校の庭に石碑と植樹をしました。その節、戦前に青島で生活され日本で青島会を主宰されている諸先輩と交流会を催し、ブログに掲載されていた足立吉弘様(故人)を中心に、戦前の日本人社会、歴史的建物の講話、見学をしてきました。また諸先輩方より、当時の貴重な写真、会誌を提供いただき、日本人学校の一室に資料室をつくり保存しています。

残念ながら先輩の不幸や体調不良で、特に戦前の青島とゆかりの方は年々減少していくのは避けられません。2016 年度も昭和6年生まれの羊年で作られた羊会の最終会が開かれ、その会報が送られてきました。

また、青島勤務を終えて日本に帰国された方々が各地で連絡をとりながら「青島会」を開いています。残念なことに大阪の馬場様を中心につくられていた「青島会」が、馬場様の急逝により解散となり、会の残金を日本人会に寄贈いただきました。戦前と戦後をつなぐ「青島の日本人」の足跡を残す活動を続けたいと思います。

## 《婦人会》

会員数:14名(2017年3月31日現在)

### 1. 総括

婦人会の活動としては、2016年度の前年度同様、4月の婦人会総会、6月と10月の定例バスツアー、12月のクリスマスが主な活動となりました。婦人の集まりということから、各イベントは昼食をはさんだ時間帯になり、食事をともにしながら、各メンバーが情報交換したり、知り合いの輪を広げたりといった場を提供してまいりました。

### 2. 2016年度の活動報告

4月の総会后、6月・10月に定例バスツアーを、また12月にはクリスマス会を実施しました。従来利用していた婦人会専用Yahooメールアドレスは、受信が滞るケース(主にHotmailのアドレスを使用している会員)が発生したため、2016年度からはWeChatを主な連絡手段として使用するようになりました。ただし、WeChatでは発信できる情報の長さに限界があるため、メールアドレスは大使館、青島日本人会から配信されるお知らせの配信に利用しています。

婦人会の活動をより多くの方々に知っていただくこと、日本人会WEB情報誌「月刊青島」にて婦人会の記事を不定期に掲載しました。2016年度は掲載回数がかかなり少なく、これは大きな反省点です。婦人会カードは、様々な店舗のご協力を賜り、割引や特典といったサービスを受けることができました。

### 3. 活動内容

2016年4月	総会(La Luna Rossa)	12名参加
6月	定例会(城陽区見学)	11名参加
10月	定例会(即墨市服装市場見学)	9名参加
12月	クリスマス会(シャングリラホテル)	15名参加

### 4. 2017年度の抱負として

青島在住の日本人が減少するなか、婦人会のメンバーも昨年同時期に較べ少なくなっています。婦人会としては、引き続きまだご加入をいただいていない青島在住の日本人女性及び日本人配偶者を持つ女性にも働きかけ、より多くの方が興味をもって気軽に参加できるようなイベントを企画していく予定です。

2016年度にはあまり活発でなかった情報発信という点では、今後は大使館や青島日本

人会からの情報を転送するだけでなく、青島での生活に欠かせない語学の習得や、スポーツ・文化サークルの紹介、店舗のお知らせといった、婦人会オリジナルの情報をさらに盛りだくさんに提供していきたいと思っております。

また可能であれば、地元青島の中国人の婦人団体とも交流ができればとも考えております。

## 5. 2017 年度に予定している行事

婦人会総会： 4 月  
定例会： 6 月、9 月  
クリスマス会： 12 月

## 《ゴルフ同好会》

会長 正村匡  
事務局長 昆野裕治

### 1. 活動状況報告

①	第 115 回	3 月 26 日(土)	青島華山	42 名
②	第 116 回	5 月 21 日(土)	海陽タイガービーチ	41 名
③	第 117 回	7 月 9 日(土)	金山国際	39 名
④	第 118 回	9 月 10 日(土)	海陽タイガービーチ	48 名
⑤	第 119 回	11 月 5 日(土)	石老人	51 名
			延べ参加者数	221 名

おかげさまで昨年度(2016 年度)は、上記の通り 5 回のコンペを開催し、延べ 221 名の方々にご参加いただきました。昨年度も多くの方にご参加頂き、誠にありがとうございました。また、数多くの企業、団体、個人の皆さまから賞品をご提供いただきました。

賞品をご提供くださった皆さまにあらためて感謝の意を表しますと同時に、今後も無理のない範囲で会員の皆さま方からのご協力・ご協賛をよろしくお願い申し上げます。皆様の金銭的に負担にならない範囲(サンプル品等大歓迎)で、商品等をご提供いただければと存じます。

### 2. 2017 年度の活動について

2017 年度は 3 月最終週に、『石老人 GC』にて第 120 回開幕戦を実施致しました。

次回の第 121 回コンペは、5 月 20 日(土)の予定です。(東方 GC 予定)今年度は、以下の日程でコンペを予定しております。これまで参加出来なかった方々も、是非お気軽にお申込み下さい(日本人会一斉メールより、「コンペのご案内」を配信する予定です。

「敷居の高くない。誰もが楽しめるようなコンペ」を企画しており、今年度はルール説明会やレッスンゴルフ等も企画する予定ですので、若い方も積極的に参加して頂いてゴルフの魅力を感じてもらえる機会にしたい、またその為の雰囲気作りを積極的に進めていくつもりです。



引続きよろしくお願ひ申し上げます。

- ① 第 120 回 3 月 25 日(土) 石老人ゴルフ倶楽部
- ② 第 121 回 5 月 20 日(土) 東方生態体育倶楽部
- ③ 第 122 回 7 月 15 日(土) 華山ゴルフ倶楽部
- ④ 第 123 回 9 月 9 日(土) 海陽タイガービーチ
- ⑤ 第 124 回 11 月 4 日(土) 石老人ゴルフ倶楽部

## 《テニス同好会》

会長 大橋 勲

### 1. 同行会概要

目的: テニスを通して、日本人相互の親睦と心身の健康促進を図る  
会員数: 2017 年 3 月現在、33 名(男性 25 名/女性 8 名)にて運営  
会費: 600 元/半期(高校生以下は 300 元)  
活動場所/時間: 銀都花園テニスコート、毎週日曜日 9:30~12:30  
練習内容: 9:30~11:00 レベル別スクール形式での練習  
11:00~12:30 レベル別試合形式での練習  
(12:30~ 昼食会、但し自由参加)

### 2. 年間活動内容

定期活動: 毎週日曜日の定期練習  
イベント: 4 月 チーム紅白戦  
5 月 中国チームとの交流戦  
6 月 ボーリング大会、懇親会  
8 月 チーム内紅白戦  
9,10 月 韓国チームとの交流戦  
12 月 チーム内紅白戦、クリスマス会  
12 月 深セン日本人チームとの交流戦

対外試合: 7 月 青島杯(韓国、中国チームとの団体戦)

\* 送別会など帰国及び異動される方がいる場合適宜実施

#### 【収支】

前年度繰越金	23,933 元
16 年度収入	41,802 元
16 年度支出	35,766 元
次年度繰越金	29,969 元

### 3. 総括

2016 年度もほぼ休まず毎週日曜日テニス活動を行ってまいりました。前年に引き続き、上級者から初中級者、小学生から年配の方まで幅広く新入会員の方々が入部されました。しかし年度末に帰国されるかたも多く、昨年度より 4 名減となりましたが、活発にテニ

ス活動を続けております。

メンバー一同は日々技術向上を図っており、上級者については一番のイベントである対外試合「青網杯」において、昨年の予選敗退を受け強化試合を重ねてきた結果、今年度は予選リーグを突破することができました。しかしながら本選では1回戦で中国チームに接戦の末に負けることとなりました。これを受けさらなる技術向上として、中国、韓国との交流試合を増やし、現在は精神的にも強くなってきたと実感しています。また初中級、上級者ともに日曜日以外にも、水曜日、土曜日と有志で気軽に集って、レベルアップを図っております。

そしてテニスの追及以上に力を入れてきたのが、老若男女問わず練習やゲーム時の一体感と、アットホームな雰囲気作りです。また定期的な懇親会やクリスマス会などのイベントを催し、テニス以外での人脈作りや情報交流の場となっています。

2017年度は、上位チームは「青網杯」でさらなる上位進出、初中級チームは交流戦の機会を多くし、韓国、中国などと国際交流をより深めて行きたいと考えております。

テニス同好会が、健康促進と憩いの場として継続するよう、会員一同の協力の元、運営していきたいと思っております。

## 《ソフトボール同好会》

### 1. 同好会概要

「本会は、ソフトボール及び野球を愛する会員の、相互親睦と技術向上を主たる目的とする。」

2016年12月末現在、一般会員52名(男性51名/女性1名)から成り、石田前会長・中村会長が会員より選任した18名の委員で運営委員会を構成しています(運営・渉外部、企画部、会計部、広報・事務局の計5部門)。

活動場所: 科技大学グラウンド

活動時間: 毎週日曜日午前8時15分～正午

年会費: 男性600元、女性400元、学生300元、家族・夫婦800元

### 2. 年間活動

昨期まで3チーム制で行ってきたリーグ戦を2チーム制にすることとなり、手探りでの始まりでしたが、1月のドラフト会議で本年を戦う2チームと選手を決定し、3月6日に開幕戦、11月27日を最終戦とした約9ヶ月に及ぶ“青島ソフトボールリーグ戦『2016』”を開催しました。

毎週日曜日に総当たり戦2試合を実施、各チームが48試合を消化し、11月27日の優勝決定戦を経て2016年度優勝チームを決定しました。12月4日優勝チームの表彰と優秀選手の表彰を同好会総会にて実施しています。

### 3. 特別活動

例年5月と11月に上海で開催される華東地区ソフトボール大会では、帰国、転勤者も多く5月は不参加、11月は2チームにて参加し、1部リーグの焼酎チームは惜しくもベスト4でした。3部リーグの清酒チームは過去5回で準優勝、あと一歩という悔しい思いをし

てきましたが、悲願の優勝をつかみ取りました。また本年度は10月に青島にて杭州ウエストレイカーズとの交流を行い、青島案内、交流戦、そして懇親会を開催いたしました。他には同好会内にて、ボーリング大会、BBQ大会など多彩な行事を開催しました。

その他、日本人会主催各種行事への参加と協力を行いました。

1月	ドラフト会議/同好会新年会/ボーリング大会
3月	前期リーグ戦開幕/プレイボールパーティ
5月	青島に黄島チームを招き交流試合
6月	前期終了/バーベキュー大会
7月	会長交代(石田⇒中村)、中国チームとの交流戦、後期リーグ戦スタート
9月	黄島に遠征し黄島チームと交流戦
10月	日本(大阪)にてOBとの懇親会、杭州ウエストレイカーズとの交流戦
11月	華東地区ソフトボール大会 1・2部リーグ(焼酎チームベスト4) 3部リーグ(清酒チーム優勝)
	年間優勝決定戦
12月	同好会総会/忘年会

2016年度は帰任・転勤にて11名の方を送別会にて見送った1年でした。しかし、12名の新しい入会者を仲間として同好会へ迎えることができました。これは会員の努力もさることながら、日本人会や各企業様に同好会の紹介をしていただき、また賞品ご協賛などの多大なるご支援のおかげと感謝いたします。ありがとうございました。2017年度も会員の笑顔が絶えない、楽しく魅力的な同好会活動を実施いたします。

## 《ヨット同好会》

代表:西垣健作

会員:大人13名、子ども5名

### 1. 同好会概要

本同好会は青島日本人会の目的・規約と精神に則り、青島に在住する日本人のヨット活動を通じ会員相互の親睦を図り、健康と余暇の充実に寄与することを目的としています。

場所は青島オリンピックマリーナを主なエリアとし、週末船をレンタル、スクールレッスンを中心に活動しています。練習を通じセーリング技術の向上、体力作りをメンバー皆で楽しく行っています。

大人はディンギー(キャビンのない船)だけでなく今年も青島で開催されるCCOR(城市俱樂部帆船賽)、クルーザーレースにも参加を予定しています。

子どもたちはヨットスクールで日本人だけでなくさまざまな国籍の子供たちと一緒にあってセーリングを楽しんでいます。

メンバーは随時募集しています。4、5月には無料のヨット体験会開催を予定していますので興味のある方は大人、子ども問わずご参加ください。

## 2. 年間活動報告

- 4月 経験者(大人、子供)活動開始  
CCOR(城市倶楽部国際帆船レース)BYTE-C2 クラスに参加
- 5月 初参加メンバーの為のヨット体験会開催
- 6月-7月 子どもヨット教室活動開始(OP ビギナー、OP アドバンス)  
各チーム 3-4 名に分かれ毎週末活動を行うクラブ内レース参加
- 8月 夏休み中、子どもたちは個人的にスクールに参加
- 8月 第八回青島国際海洋節レース(FE26 クラス)に参加
- 9月-10月 子どもヨット教室(秋の部)活動開始
- 10月 柳州国際帆船レース(J80 クラス)に参加
- 10月 同好会主催レースは悪天候のため中止
- 11月 山東省第2回帆船帆板公開レース BYTE-C2 に参加
- 12月 懇親会、忘年会開催

## 3. 2017 年度の目標

- 子どもたちはディンギーレッスンを通じ海、天候、船の構造を学びヨットを楽しむ
- 大人はディンギーでの個人レッスン、クルーザーレース参加

### 《写真同好会》

会長:平田至範(連絡先 15553215582)

副会長:大石純(連絡先 15865322927)

#### 1. 同好会概要

写真同好会では青島キヤノン様のサポートを受けて、毎月一回定例会(金曜の夜)を開催しています。撮影課題(テーマ)を決めて撮影した写真を持ちよって鑑賞評価を行い、入賞作品は青島日本人会HP「月刊青島」及びフリー雑誌「こみゆにけーしょん」「すまいる青島」等に掲載されます。

#### 2. 活動報告

青島日本人学校運動会や新年会等では撮影協力をさせていただきました。また、日本人会の協賛により12月24日と25日、栄成で白鳥の撮影会を開催いたしました。今後も撮影会や撮影旅行を予定しております。

携帯写真でも構いませんが、写真撮影にご興味のある方のご参加をお待ちしております。

月例開催日	開催地	月例会テーマ		
4月10日	キヤノン青島事務所	乗り物	春	自由
5月15日	キヤノン青島事務所	携帯撮影	春	自由
6月13日	麗晶大酒店山東海外旅行社	初夏	影	自由
7月10日	キヤノン青島事務所	夏	夜景	自由
8月10日	キヤノン青島事務所	花	海水浴	自由

9月8日	キャノン青島事務所	流し撮り	飲み物	自由
10月10日	キャノン青島事務所	青島の街並み	若者	自由
11月9日	キャノン青島事務所	秋	波	自由
12月9日	キャノン青島事務所	夕日	船	自由
1月11日	キャノン青島事務所	冬	静物	自由
2月10日	キャノン青島事務所	春節	白鳥	自由
3月11日	キャノン青島事務所	乗り物	白黒	自由

## 《卓球同好会》

会員 17名(2017年3月現在)

### 1. 同好会活動目的

- ① 卓球を通じて、広く青島に住む日本人の親睦を深め、その身体面・精神面における健やかな生活に寄与する。
- ② 卓球を通じて中国人及び青島に在住するその他の国の卓球愛好者との交流を進める。

### 2. 日常の活動

定例練習日：

毎週水曜日 18:30-20:30

毎週土曜日 17:00-19:00

会費の徴収：

会費としては、場所代として当日参加者から、水曜日は1人あたり20元、土曜日は1人あたり30元を徴収。定額の年会費といったものは徴収しない。定例練習以外に、有志による自由練習及びコーチについての練習もあり。これも参加者がそのつど場所代又はコーチ代を負担する

### 3. 2016年度に実施したイベント

- ① 2016年7月 第3回青島国際商会杯卓球大会に青島日本人チームとして参加
- ② 2016年11月 日本人学校体育館にて、卓球体験会開催
- ③ 2016年12月 北京遠征、北京日本人卓球クラブ(JBTC)と交流試合
- ④ 2017年3月 蘇州にて中国各地の日本人卓球同好会による合同合宿に参加

このほか、帰任・転勤のため青島を離れるメンバーがいる場合、総当たり戦を開催して歓送しています。また、不定期ですが、クラブ内において「蠍杯」(10月開催)、「河童杯」(3月開催)と銘打ったユニークなダブルスリーグ戦も実施しています。

#### 4. 2016年度の総括及び2017年度の目標

2016年度は交流という点からみると、従来に比して活発に行動した年になったかと思えます。12月の北京遠征、3月の蘇州合宿では、他の中国各地の卓球愛好者と楽しく練習をすることができました。また、毎年夏の恒例となった青島国際商会杯は、年を追うごとに参加者が増えており、活発な交流の場となっています。青島国際商会杯では、技術面でかなり見劣りする私たちではありますが(それでも2016年度は栄えある1勝目をあげました。これも日頃の練習の賜物と自負しております)、卓球を通じて他の国の方たちとも友誼を深めるよい機会となっています。なお、11月に日本人学校で行った卓球体験会は、参加された人数はあまり多くなかったものの、ある程度卓球というスポーツに接していただく契機になったかと感じております。次回はさらに魅力的な体験会が開催できればと思います。

会の規約にも謳っていますように、参加される皆様の健やかな生活に寄与することが同好会の最大の目的です。よって、身体に大きな負担をかけることなく、ケガをすることなく、卓球を楽しみたいと思っております。とはいえ、上達しないと楽しみも増えませんが、安全と技術向上の両立をめざしたいと考えます。

## (4) 2016 年度青島日本人学校運営理事会 活動報告

青島日本人学校運営理事会

理事長 藤井伸明

副理事長 吉川宙

### 1. はじめに

日頃より青島日本人学校の運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

2000 年開校の補習授業校時代を経て、2004 年に創立した青島日本人学校は、2008 年に現在の新校舎が完成しました。大変充実した学習環境のもと、教育目標である「豊かな心を持ち、自ら学び鍛える、たくましい児童生徒の育成」、中期目標である「日本を俯瞰できる眼をもち、切磋琢磨する児童生徒の育成」の実現に向け、日本全国から集まった個性あふれる教職員の熱心な指導のもと、青島の地域性を活かした教育課程を編成し、日中の自然、歴史、伝統、文化、生活習慣を身につけた国際性豊かな児童・生徒の育成を行っています。

また、生徒たちは登喜龍一郎校長が標榜する「チーム青島」の一員として、学年の垣根を越えた生徒同士の友情を育み、青島現地校生、また当日本人会会員とも日本人会イベントや職場体験等を通じた交流を深めており、現代社会でますます重要視されている人と人との結びつきにおいて得がたい経験をしています。

一方、2016 年度も中国の景気減速や大気汚染他の影響を受けており、生徒数は 1 学期始業式時点の 72 名(小学部 64 名、中学部 8 名)からスタートし、3 学期終了時点で 70 名(同 62 名、8 名)と微減になりました。生徒数減少による収入減で懸案となっておりました財政問題については、青島日本人会からの拠出金・日本国政府からの補助金、皆様のご厚意による寄付(青島日本人会会員企業、個人等による任意寄付金、各種行事における寄付他)に加え、2013・2014 年度の二度にわたる学費値上げへの保護者の皆さまのご理解により、単年度ベースでは健全性が保たれております。

同時に、中国政府の増値税改革に起因した増値税や文部科学省派遣教員の個人所得税等の新たな課題が生じておりますが、在青島日本国総領事館のご協力を得て、青島市政府(外事弁公室、教育局他)に対し支援要請を行っており、成果が出るよう粘り強く対応していく所存です。

3 年間にわたりこの素晴らしい青島日本人学校を率先垂範の精神でリードされ、児童・生徒への教育・指導に多大なる貢献をされた登喜校長先生、大谷教頭先生が 3 月に帰任され、学校運営理事会としても盛大に壮行いたしました。

2017 年度、新たな校長先生を迎え、新体制にて学校運営に取り組む所存です。

青島日本人会、会員の皆さまの変わらぬご支援を賜りたく、お願い申し上げます。

## 2. 主な活動実績・決議事項

### ■ 活動内容

- 青島日本人学校運営上の重要事項の審議・決定
- 各種報告(校務、財務、PTA、通学バス運営委員会、校舎管理事務室他)

### ■ 活動実績

- 運営理事会開催(年 10 回)
  - ✓ 通学バス運行方法に関する決議(10 月)
  - ✓ 学校施設開放規則の改定(11 月)
  - ✓ 2016 年度決算、2017 年度予算承認(1 月)
  - ✓ 授業料等に関する規則改定(再入学金規程挿入)(1 月)
- 主催行事・活動
  - ✓ 青島日本人学校派遣教員歓迎会(4 月)
  - ✓ 青島日本人学校運営状況説明(1 月、入学説明会)
  - ✓ 青島日本人学校帰任職員送別会(3 月)

## 3. 学校案内

- 名 称: 青島日本人学校 <http://www.qingdaojs.org/>
- 校 長: 金森 孝子(2017 年 4 月着任)
- 教職員: 文部科学省派遣教員(校長含む)9 名、現地採用常勤講師 2 名、  
事務 3 名
- 住 所: 青島市市北区同安路 56 号
- 学 費: 入学金 15,000 元、授業料 5,000 元/月  
(別途、スクールバス・PTA 会費他)



## 第 2 号議案

### 2016 年度会計報告

2016 年 4 月 1 日～2017 年 3 月 31 日

(単位：人民元)


収入の部		支出の部	
1. 前年度繰越金	439,323	1. 事務局費	294,536
		2. 商工会活動費	56,815
		全体会	29,750
		部会	21,765
2. 2016 年度会費収入	742,500	地区分科会	5,300
法人会員(340 社)	736,300	3. 生活文化関連費	84,575
個人会員(31 名)	6,200	婦人会	2,110
3. 臨時会費収入	105,430	ちんたお文庫	41,131
・総会懇親会会費	38,250	運動会	404
・新年会会費	67,180	月刊青島	5,500
		歴史保存会	160
4. 銀行利子見込み	7,328	納涼会	19,112
		公認同好会支援	15,714
		社会奉仕	443
5. その他(寄付など)	2,770	4. 会議費	112,427
		総会	39,750
		新年会	72,677
		5. 日本人学校支援費	250,000
		6. 文化関連行事	30,000
		7. 情報整理(H. P改修等)	0
		8. 特別講演会の開催	2400
		9. 安全対策活動費	0
		10. 次年度繰越金	466,598
<b>【合計】</b>	<b>1,297,351</b>	<b>【合計】</b>	<b>1,297,351</b>


## 第 3 号議案

### 監 査 報 告

青島日本人会規約に規則り、第 26 期(2016 年 4 月 1 日～2017 年 3 月 31 日)の会計検査を関係帳簿、信憑書類に基づいて実施したところ、全て厳正に処理されていることを確認いたしました。

2017 年 4 月 15 日  
青島日本人会 監事

今岡清彦 

中川伊正 

第4号議案

2017年度 青島日本人会 理事及び監事(案)

	名前	所属企業名	職位
理事	青木 功	青島嘉都麗時裝有限公司	総経理
理事	井上 薫	青島聯合包装有限公司	総経理
理事	岩崎 克彦	日本興亜財産保険(中国)有限責任公司 山東分公司	総経理
理事	大谷 典義	青島扶桑精製加工有限公司	総経理
理事	吉川 宙	みずほ銀行(中国)有限公司 青島支店	支店長
理事	小松 宏彦	新日清制粉食品(青島)有限公司	総経理
理事	佐藤 秀二	日本貿易振興機構(JETRO)青島代表処	所長
理事	清水 雅彦	株式会社山口銀行 青島支店	支店長
理事	杉田 貴史	カケンテストセンター青島試験室	室長
理事	武田 裕之	青島新東機械有限公司	総経理
理事	根占 浩司	雅瑪多国際物流有限公司青島分公司	総経理
理事	野上 卓志	洋馬発動機(山東)有限公司	総経理
理事	能勢 稔彦	伊藤忠(青島)有限公司	総経理
理事	端 彰一郎	東麗医療科技(青島)股份有限公司	総経理
理事	廣田 至夫	全日本空輸株式会社青島支店	支店長
理事	福永 護	在青島日本国総領事館	首席領事
理事	藤井 伸明	三菱商事(青島)有限公司	総経理
理事	別所 良起	青島誠誉食品検測有限公司	総経理
理事	前田 逸朗	青島松下電子部品(保税區)有限公司	総経理
理事	前田 裕之	青島日水食品研究開発有限公司	総経理
理事	正村 匡	青島藤華服装有限公司	総経理
理事	松沢 隆	丸紅(青島)有限公司	総経理
理事	室井 清孝	三菱東京日聯銀行(中国)青島分行	支店長
理事	森 賢司	日郵物流(中国)有限公司 青島分公司	総経理
理事	矢部 千尋	艾斯凱環境設備(青島)有限公司	総経理
監事	今岡 清彦	獅王日用化工(青島)有限公司	工場長
監事	中川 伊正	青島永旺東泰商業有限公司	総経理

## 第5号議案

### (1) 2016年度事業活動計画

青島日本人会会長  
能勢 稔彦

#### 1. 全般

昨年度は、商工会会長を半年間務めさせていただきましたが、今年度は青島日本人会の規定により、青島日本人会会長に就任することとなりました。

昨年4月に赴任したばかりで、いきなり日本人会を運営する側に立つことになり大変戸惑いましたが、活動を通じ非常に良い経験をさせていただき、同時に青島日本人会が抱える良い点、悪い点も把握することができました。

今年度は日本人会会長ということで、それらを踏まえ皆さま方のサポートを頂きながら、自分なりに精いっぱい務めさせていただく所存です。

中国は、地域により、経済の好不調が顕著になってきております。幸い青島市は先日発表があったように、この6年間でGDPが2倍に増え、都市として12番目にGDPが1兆円を突破した都市となりました。

今後もさらに中国企業とともに発展していくために、我々日本人会として、在青島日本国総領事館、JETRO青島事務所との連携を強化し、青島市政府機関との密なコミュニケーションを軸に、日本人の生活環境、企業活動環境の整備向上のための提言を積極的に行っていきたいと思っております。

会員の皆様におかれましてはさらなるご支援とご協力、イベントへの積極的なご参加を宜しくお願い申し上げます。

最後に、青島日本人会には四半世紀に及ぶ歴史があります。過去に諸先輩方が知恵と工夫と勇気で難題を克服してこられたその歩みを、我々も次の世代に引き継いでまいりたいと思っております。

#### 2. 活動計画

- ① 青島市政府機関との関係を強化し、日本人の生活環境及び企業活動環境向上のための提言を行う。
- ② 青島日本人学校の運営を通じ、家族帯同者が安心して生活できる環境を維持整備する。
- ③ 在青島日本国総領事館との連携を通じ、緊急事態発生時の対応整備、安全情報等各種情報の収集と発信を行う。
- ④ 在青島日本国総領事館のサポートを頂き、中国他地域日本人会、組織との交流及び情報交換を行う。
- ⑤ 地域貢献活動。
- ⑥ 他国コミュニティとの交流。

## (2) 商工会

商工会会長

きっかわ ひろし  
吉川 宙

### 1. 2017 年度の活動方針

3 月に北京で開催された全国人民代表大会において、李克強総理は 2017 年の実質 GDP 成長率政府予測目標を+6.5%に設定し、経済政策の重点として、

- ① 改革により「三去一降一補」を深く推進
- ② 重要分野のカギとなる改革の深化
- ③ 国内需要の潜在力を一段と引き出す
- ④ イノベーションによる実体経済のタイプ転換・高度化、対外開放を積極的・主導的に拡大

などをあげています。こうした中国政府の政策は、中国経済に与える作用は大きく、その影響は中国に進出している外資系企業の事業活動に対しても直接的、間接的に及ぶものであります。また、影響は山東省、青島市における我々日系企業もその例外ではなく、こうした動向について、継続的に注目すべき状況にあると考えます。

かかる状況下、商工会として今年度の活動については、従来からの活動方針を踏襲しつつ、変化する会員の要望を汲み入れつつ行いたいと考えております。会員企業が事業活動等に必要な法律・会計・税制・労務制度とその動向、社会、文化、習慣等の知識向上の機会を提供、会員企業が円滑に事業活動を行い、持続的な成長の実現に資する活動を行ってまいります。また、商品・サービス等の提供や雇用などを通じて地域社会に貢献し、日系企業として快く受け入れられることを、お手伝いする活動を行ってまいります。具体的には、以下の内容に取り組んでまいります。

- ① 工会内の4つの部会における情報交換会・見学会などの実施
- ② セミナー開催を中心とした情報提供や学習の場の設置
- ③ 政府関係機関との交流を通して、地域経済・社会に深く関わる各企業の姿・活動をアピールし、理解と協力を求めること

### 2. 各部会活動について

各部会は業種・業界をベースに「食品部会」、「繊維部会」、「機械・電機・化学部会」及び「流通・サービス部会」の4つの部会に分かれての活動を行っています。各部会においては、それぞれ固有のニーズ・課題に応じて活動を行い、セミナー、工場見学会の実施のほか、懇親会など会員企業同士の交流の場の提供を行っています。これらの部会活動には、業種・業界の枠を超えてのご参加も歓迎いたします。また、異業種間交流の場の設け方やあり方は、是非皆様のご意見を賜りたいと考えております。

### 3. セミナー開催について

昨年度は計 6 回のセミナーを開催、多くの方々にご参加いただきました。今年度も会員企業の活動に必要なあるいは有益と思われるテーマを選別し、情報提供を行ってまいります。また、セミナー開催については、JETRO との共催も含め幅広く日系企業の皆さまへの情報提供の場を設けてまいりたいと思います。

### 4. 政府関係機関、地域社会との交流について

これまでも総領事館のご支援、JETRO との連携により青島日本人会として、青島市政府商務局等の政府関係機関との交流を推進、関係強化に取り組んでまいりました。今年度も総領事館、JETRO と連携し、その関係をさらに深め、会員各社の皆さまと市政府等とのパイプ役となり、会員企業の事業活動の円滑化、日中経済交流の活発化にお役に立つことができると考えております。

会員各社の皆さまのご意見ご要望を伺いながら、お役に立てる活動を進めてまいりたいと考えておりますので、一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

## (3) 生活文化会

生活文化会会長

根占 浩司

### 1. 2017 年度の活動方針

青島において日本人駐在員が年々減少しているなか、日本人同士が心を通わせて、お互いにコミュニケーションを図ることができる場面を提供することを目的として活動してまいります。会員皆さま方のご意見を頂きながら、昨年度実施した内容を充実させて、子供たちの笑顔が溢れる、ご家族全員が参加しやすい行事の開催を目指していきたくと思います。また、中国に暮らす我々が地域に何か貢献できないかという観点から、社会奉仕活動について積極的に実施してまいりたいと思います。

生活文化会のメンバーも大幅に入れ替わり、心機一転、頑張っていく所存です。今年度も皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 2. 主な活動内容

- ① 青島日本人会運動会、納涼祭り、新年会の企画実行
- ② 社会貢献活動の積極的な開催
- ③ 特別講演会等文化行事の企画開催
- ④ ちんたお文庫運営に対する支援
- ⑤ 各同好会・婦人会への活動支援
- ⑥ 「月刊青島」を通じた青島生活情報の発信
- ⑦ 青島の文化・歴史についての調査、研究支援

#### (4) 青島日本人学校運営理事会

青島日本人学校運営理事会

理事長 藤井 伸明

副理事長 岩崎 克彦

青島日本人学校は、青島日本人会が設立した国際社会の中での将来を担う児童生徒の健やかな成長、学問習得を全力でサポートする教職員が集う素晴らしい学校です。

新年度は新たに青島に赴任された金森孝子校長の指揮のもと、教育目標である「豊かな心を持ち、自ら学び鍛える、たくましい児童生徒の育成」、中期目標である「日本を俯瞰できる眼をもち、切磋琢磨する児童生徒の育成」の実現に向け、昨年度同様、日本全国から集まった個性あふれる教職員の熱心な指導のもと、青島の地域性を活かした教育課程を編成し、日中の自然、歴史、伝統、文化、生活習慣を身につけた国際性豊かな児童・生徒の育成に努力してまいります。

今年度も青島日本人学校運営理事会は、本校教職員ともども、青島日本人会の活動にも積極的に参加させていただき、皆様との交流を深めていきたいと存じます。

残念ながら近年全体としての駐在員の減少もあり、児童生徒数も微減傾向にありますが、この魅力ある素晴らしい学校を安定的に継続運営して行くことが、学校運営理事会の最優先事項と考えて進めてまいります。

引き続き、日本国政府、地元政府への継続的支援要請、宣伝活動を行うと同時に、会員企業の皆さまにお願いしております青島日本人学校に対する任意寄付金につきましても、受付を継続してまいります。

運営理事会一同、精一杯努力してまいりますので、会員の皆さまのご理解、ご支援、ご協力を何とぞよろしくお願い申し上げます。

第6号議案

2017年度予算案

(2017年4月1日～2018年3月31日)

(単位:人民元)

収入の部		支出の部	
1. 前年度繰越金	466,598	1.事務局費	298,000
		2.商工会活動費	67,000
		全体会	35,000
		部会	20,000
2. 2017年度会費収入	719,000	地区分科会	12,000
法人会員(340社*2100元)	714,000	3.生活文化関連費	107,000
個人会員(25*200元)	5,000	婦人会	5,000
3. 臨時会費収入	110,000	ちんたお文庫	42,000
・総会懇親会会費	30,000	運動会	2,000
・新年会会費	80,000	月刊青島	12,000
4. 銀行利子見込み	4,000	歴史保存会	1,000
		納涼会	20,000
		公認同好会支援	24,000
		社会奉仕	1,000
		4.会議費	120,000
		総会	32,000
5. その他(寄付など)	0	新年会	88,000
		5.日本人学校支援費	200,000
		6.文化関連行事	30,000
		7.情報整理(H. P改修等)	1,000
		8.特別講演会の開催	0
		9.安全対策活動費	0
		10.次年度繰越金	476,598
<b>【合計】</b>	<b>1,299,598</b>	<b>【合計】</b>	<b>1,299,598</b>